

CASBEE® 京都-新築

標準システム

■使用評価マニュアル: CASBEE-京都-建築(新築)2018年版 | 使用評価ソフト: CASBEE京都-新築2018 (v.1.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)京都六角通りプロジェクト	階数	地上10F
建設地	京都市中京区六角通烏丸西入骨屋町151他	構造	S造
用途地域	商業地域, 準防火地域	平均居住人員	222 人
地域区分	6地域	年間使用時間	4,380 時間/年(想定値)
建物用途	ホテル,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年12月 予定	評価の実施日	2018年4月1日
敷地面積	828.99 m ²	作成者	東洋設計事務所
建築面積	619.95 m ²	確認日	2018年4月1日
延床面積	3,450.72 m ²	確認者	東洋設計事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.9 ★★☆☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂温暖化影響チャート

★☆☆☆☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	79%
③上記+②以外の	79%
④上記+	79%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.0

音環境	2.4
温熱環境	3.1
光・視環境	2.4
空気質環境	3.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.6

機能性	2.2
耐用性	3.2
対応性	2.5

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.8

生物環境	1.0
まちなみ	4.0
地域性・	3.0

LR のスコア = 3.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.6

建物外皮の	4.0
自然エネ	3.0
設備システ	3.8
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.9

水資源	3.0
非再生材料の	2.9
汚染物質	3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 2.7

地球温暖化	3.8
地域環境	1.9
周辺環境	2.4

3 設計上の配慮事項

総合	その他
文化財である京町家を保存し建物の共用部として利用する。 建物を保存したことで、敷地周辺の街並みには大きな変化を与えていない。	既存建物(旧伴家住宅:重要文化財)を保存、活用している
Q1 室内環境 室内の環境に配慮し、F☆☆☆☆の建築材料を使用。	Q3 室外環境(敷地内) 京町家の保存における文化の継承を考慮し、京町家における中庭等の緑地についてはできる限り確保した。
LR1 エネルギー できる限り自然エネルギーを利用している。	LR2 資源・マテリアル 地域産木材を利用している。
	LR3 敷地外環境 特になし。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される